



Title	災害と共生 8巻1号 表紙/目次
Author(s)	
Citation	災害と共生. 2025, 8(1)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/98896
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

災害と共生

Disaster and Kyosei

8巻1号

特集：能登半島地震——協働的実践からアクションリサーチまで

巻頭言

渥美公秀 1

論文

令和6年能登半島地震における「ボランティア不足」とは何だったか
——災害ボランティアセンター運営と自肅要請に着目して

宮前良平・大門大朗・渥美公秀 3

「公」の「縮退」後の災害対応は展望可能か——2024年能登半島地震からいま考えられること

宮本匠・頼政良太 21

災害発生時の学生ボランティアと大学による支援の意義と課題について——令和6年能登半島地震における2大学の事例をもとに

内山志保・大門大朗・水口学・渥美公秀 31

令和6年能登半島地震における「人とペットの3つの避難」に関する予備的考察——発災初期の能登地方の事例を踏まえて

加藤謙介 45

研究ノート

令和6年能登半島地震における障害者・団体による被災地支援の多様性と可能性

石塚裕子 59

一般論文

研究ノート

お困りごと（Access and Functional Needs）防災のための概念整理
——カリフォルニア州における調査を踏まえて

渥美公秀・石塚裕子 65

発行・編集 「災害と共生」研究会

大阪大学大学院人間科学研究科

未来共生学講座・共生行動論研究室内

2025年1月